



サツキツツジ (サツキ)

[皐月躑躅]

5本の樹

常緑 / 低木 / 木本植物 / 在来種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

ツツジ科の中では、最も遅い5月に開花するため「皐月（さつき）」と呼ばれる。背が低く維持できるので、手前にサツキ、後ろに背の高いヒラドツツジなどを配植すると納まりがよい。江戸時代より様々な園芸品種が作出され、各地でサツキ展が催されるほど人気が高い。



緑葉



花



冬葉



刈込み

Memo

濃いピンクの花を咲かせる大盃（オオサカズキ）という品種が、緑化樹として最も多く利用されている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸 花期						■							
🍒 果実		(花後にできる蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)											
🍂 紅葉													
🌱 施肥		■							■				
✂️ 剪定								■ (花後早めに)					
★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）													

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○		湿
寒さ	強	○	○		弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

移植は容易だが、浅根性（根の張り方が浅い）のため表土が乾燥したり、過湿になると枯れやすい。梅雨の排水不良と夏期の水切れに注意。鹿沼土のような保水と通気性ある酸性土壌を好む。

剪定

初夏には翌年の花芽が形成されるので剪定、刈り込みは、花期直後に実施する。遅れると花付が悪くなる。花後に強剪定して、以後は徒長枝の切り戻し程度が理想。

病虫害

夏の乾燥時にグンバイムシやハダニが発生すると、葉が白っぽくなる。駆除し充分灌水する。ハバチの仲間ルリチュウレンジの幼虫はツツジ類の葉を食害する。

呼べる蝶  ヤクシマルリシジミ